

地域の魅力

浪江町の今、 復興へ向けた取り組み



吉田 栄光
浪江町長

● 浪江町の概要

浪江町は、福島県浜通りの中央に位置しています。町の総面積は223.14km²であり、南北に短く東西に長いかたちをしています。東は太平洋に接しており、請戸漁港では豊富な魚介類が水揚げされています。西は阿武隈山系にあり、山・川・海と豊かな自然に恵まれています。冬はほとんど積雪がなく、夏は涼し

く過ごしやすい気候です。JR常磐線や常磐自動車道の開通により、東京や仙台からのアクセスも良好となっています。

2011年3月の東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所事故により全町避難を余儀なくされてから間もなく13年を迎えようとしています。町の一部では避難指示が解除されているものの、未だ、町域の約8割の面積で帰還困難区域が残されています。復旧・復



中心市街地空撮



肉まつり

興は着実に進展している一方で、課題は山積しています。

震災当時の人口は約21,000人でしたが、2023年9月末時点の町内居住人口は2,103人となっています。

● 帰還困難区域の避難指示解除に向けて

2023年3月、帰還困難区域のうち特定復興再生拠点区域の避難指示が解除されました。わずかな面積ではありますが、帰還困難区域の復興再生に向けた足がかりができたと考えています。大堀地区においては、国の伝統的工芸品に指定されている「大堀相馬焼」の物産会館「陶芸の杜おおほり」が6月に再開いたしました。再開にあわせて開催された「大せとまつり」では、避難先で工房を再建し、伝統を守り続けてきた7つの窯元が焼き物の販売を行い、水素燃料電池車を使った「水素ろくろ」による実演などが催されました。昔懐かしい風景がよみがえり、町内外から多くの人でにぎわいました。

また、津島地区においては、11月に「つしま肉まつり」を約13年ぶりに開催しました。当日のステージイベントでは、地元の南津島郷土芸術保存会の南津島の神楽やライブなどが披露されたほか、津島地区の歴史を伝える写真展も開催しました。津島地区においても、少しずつにぎわいを取り戻してまいります。

帰還困難区域の復興再生は緒についてばかりであり、また、未だ広い面積で避難指示が継続しています。「ふるさとに帰りたい」との町民の声に応えるべく、引き続き、取組みを進めてまいります。

● 福島イノベーション・コースト構想の推進

東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所事故により崩壊した地域経済を再構築するため、国、県、被災市町村等で福島イノベーション・コースト構想を策定し、県内各地でその取組みが行われています。浪江町においては福島ロボットテストフィールド浪江滑走路、福島水素エネルギー研究フィールド、



福島高度集成材製造センターが立地しており、多くの企業が利用・視察等に訪れています。また、国及び県の補助制度を活用して、町内において多くの企業がさまざまな実証事業を展開しています。

さらには、これらを浜通りから全国に、その効果を広げていくための福島イノベーション・コースト構想の司令塔機能を担う福島国際研究教育機構（F-REI）が2023年4月に開所されました。F-REIは福島復興再生特別措置法に基づく特別の法人として国が設立した機関であり、「研究開発」、「産業化」、「人材育成」、「司令塔」の4つの機能を有しています。段階的に研究グループを増やし、2030年度までに50の研究グループ、約500人の研究者が従事する計画となっています。

こうした取組みは実証で終わることなく、社会に実装され住民の生活が豊かになること

が重要です。浪江町から、成功事例を作り、全国に発信したいと考えています。

● 水素利活用の推進

水素社会の先駆けとなるまちづくりのために「浪江水素タウン構想」を掲げ、暮らしや産業、交通、教育等、あらゆる分野で水素が活用されるまちを目指しています。

町内では、水素利活用に関する技術的、法的、コスト的な各種課題を整理・解決していくため「つくる」、「はこぶ」、「つかう」のそれぞれの段階における実証事業が展開されています。公共施設への水素燃料電池導入や公用車としての水素燃料電池車導入も進めています。子どもたちにも水素を身近に感じてもらえる啓発活動や水素燃料電池で駆動するFCスクールバスを導入し、教育活動に使用していただく取組みにも着手しています。



水素タウン構想

また、2023年5月、米国カリフォルニア州ロサンゼルス市及びランカスター市を訪問し、環境関連国際会議（ベルデ・エクステンジ会議）において当町の水素及び再生可能エネルギーの取組みを紹介するとともに、ランカスター市及びハワイ郡と太平洋水素エネルギー共同体（PHA：パシフィック・ハイドロ

ジェン・アライアンス）の設立に向けた覚書を締結しました。

次世代のエネルギーである水素による連携を国際的に強化することにより、浪江水素タウン構想やまちづくりがより良いものになるよう取り組んでいきます。



ランカスター市 ハワイ郡国際連携